

平成25年度

# 学校だより大宮

## 学校評価アンケート集計結果 3月

京都市立大宮小学校  
校長 藤本 鈴香  
北区大宮中ノ社町37  
TEL 491-0783  
FAX 492-4221

今年度は、昨年度までと違い、評価項目を(知)(徳)(体)に整理し直しました。また、子ども・教職員・保護者にできるだけ同じ項目に答えてもらえるようにして、その意識の違いについても確認していけるようにしました。

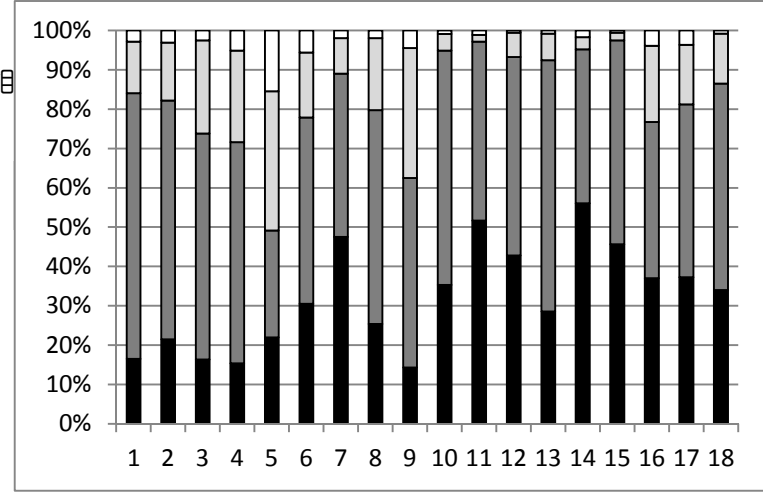
アンケートは2月の自由参観期間に合わせて実施させていただきました。回答は ①よく出来ている ②大体出来ている ③あまり出来ていない ④出来ていない の4段階で答えてもらいました。その回答を子ども・教職員・保護者ごとに集計し、さらに①+②(=出来ている) ③+④(=できていない)の割合を算出し、それぞれの項目の大まかな傾向をつかめるようにしました。

また、下表の上段には6月の、下段には2月のデータを記載しており、比較できるようにしました。そして、特に大きな傾向や課題だと思われること、子ども・教職員・保護者の意識に大きな違いがあることについて、以下の通りにまとめました。

	④ 出来ていない
	③ あまり出来ていない
	② 大体出来ている
	① よく出来ている

### 保護者から見た児童の達成度

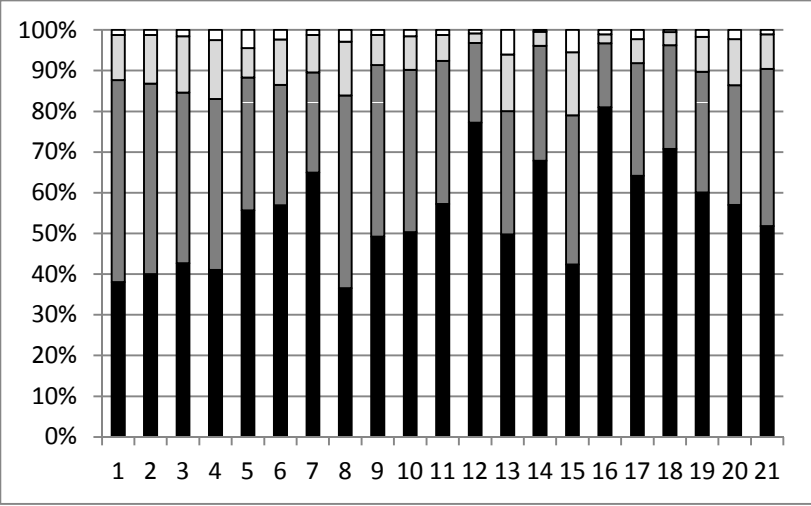
(知):自分の考えを表現できる子ども								(徳):友だちを大切にできる子ども						(体):心も体もたくましい子ども					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18		
内容あてに理解している学習し、	話をしっかり聞き、学習に	自分の考えをきちんと言葉で表現している	グループでの話し合いでは	家で読書をしている	家で宿題や家庭学習を進んでいる	自分で持ち物等の準備をしている	自分から進んであいさつをする	きもちをそろえたりしては	学校や学級のルールを守れている	友だちと仲良くできている	動物や植物のことを大切にしている	子どもたちと話したりおも	楽しく学校生活を送っている	安全に気をつけて遊んだり	ポイッと活動に参加したり、ス	進んで体を動かしたり、ス	好き嫌いをせず、食べるようにしている	健康に気をつけている	
6月	18.2	19.9	29.0	34.3	54.7	23.8	13.3	21.7	42.6	7.9	4.1	6.9	9.8	3.3	3.8	17.5	19.7	10.3	
2月	81.8	80.1	71.0	65.7	45.3	76.2	86.7	78.3	57.4	92.1	95.9	93.1	90.2	96.7	96.2	82.5	80.3	89.7	
2月	16.0	17.8	26.2	28.4	50.8	22.1	11.0	20.3	37.5	5.1	2.8	6.8	7.6	4.8	2.5	23.2	18.8	13.5	
2月	84.0	82.2	73.8	71.6	49.2	77.9	89.0	79.7	62.5	94.9	97.2	93.2	92.4	95.2	97.5	76.8	81.2	86.5	



保護者から見た児童の達成度

### 児童の自己評価

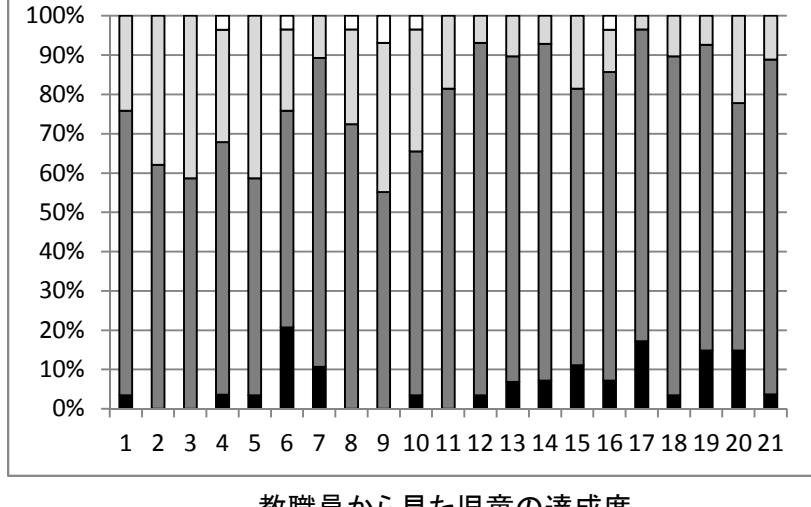
(知): 自分の考えを表現できる子ども								(徳): 友だちを大切にできる子ども								(体): 心も体もたくましい子ども					
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
いますか	話をしっかりと聞いて、学習に取り組んでいますか	自分の考えをきちんと話したり書いたりしていますか	グループでの話し合いでは進んで発表していますか	先生は分かるように教えてくれますか	おはようタイムではしっかりと読書をしていますか	家で宿題や家庭学習をしていますか	持ち物を忘れずに持ってきていますか	自分から進んであいさつをしていますか	きちんとそうじをしたりはきものをそろえたりしていますか	学校や学級のルールを守れていますか	友だちと仲良くできていますか	悩まされたことがあれば、人に相談しやすか	動物や植物のことを大切にしていますか	先生とよく話しますか	お家の人とよく話しますか	楽しく学校生活を送っていますか	安全に気をつけて遊んだり、下校したり返りして遊んだりしていますか	ポイッと活動に参加したり、スポーツ活動で体を動かしたりしていますか	進んで体を動かしたり、スポーツ活動で体を動かしたりしていますか	給食は好き嫌いをせず、食べるようにしていますか	健康に気をつけていますか（早寝・早起き・朝御飯・手洗いうがい・歯磨きなど）
11.1	10.8	14.9	17.6	8.2	8.9	7.3	17.5	6.1	10.4	5.5	3.6	18.4	4.9	17.9	6.2	7.4	3.5	8.1	13.6	11.5	
88.9	89.2	85.1	82.4	91.8	91.1	92.7	82.5	93.9	89.6	94.5	96.4	81.6	95.1	82.1	93.8	92.6	96.5	91.9	86.4	88.5	
12.3	13.2	15.4	17.0	11.7	13.5	10.4	16.1	8.7	9.8	7.6	3.2	20.0	3.9	21.0	3.3	8.2	3.7	10.3	13.6	9.6	
87.7	86.8	84.6	83.0	88.3	86.5	89.6	83.9	91.3	90.2	92.4	96.8	80.0	96.1	79.0	96.7	91.8	96.3	89.7	86.4	90.4	



児童の自己評価

### 教職員から見た児童の達成度 ※評価項目は児童と同じです

6月	9.1	34.4	50.0	46.9	17.9	6.3	9.4	21.9	30.3	39.4	15.2	9.1	9.7	9.1	9.1	9.4	3.0	15.2	0.0	18.8	18.8
2月	90.9	65.6	50.0	53.1	82.1	93.8	90.6	78.1	69.7	60.6	84.8	90.9	90.3	90.9	90.9	90.6	97.0	84.8	100.0	81.3	81.3
2月	24.1	37.9	41.4	32.1	41.4	24.1	10.7	27.6	44.8	34.5	18.5	6.9	10.3	7.1	18.5	14.3	3.4	10.3	7.4	22.2	11.1
2月	75.9	62.1	58.6	67.9	58.6	75.9	89.3	72.4	55.2	65.5	81.5	93.1	89.7	92.9	81.5	85.7	96.6	89.7	92.6	77.8	88.9



教職員から見た児童の達成度

③+④ 出来ていない  
①+② 出来ている

## (知)自分の考えを表現できる子ども

保護者からは、6月に比べ7項目全てにおいて少しずつできるようになっているとご回答いただきました。特に「グループの話し合いでは進んで発表している」項目は5.9％上昇しています。それは、きつと授業参観でその場面を目にされたからだと思います。

子どもたちがたくましく生きていくためには、自分の考えやおもいを相手に伝える力が欠かせません。しかし、その力をつけるのは簡単なことではありません。まずは物事を理解し、それに対する自分の考えやおもいをもつことが必要です。さらに、それを伝えようとする意志とその方法も身につけなければなりません。今までも授業は勿論のこと、その他にも日直のスピーチや大宮表現タイムなどに取り組んできましたが、その力は一朝一夕につくものではなく、十分に成果が上がったとは言えませんでした。

そこで、今年度は様々な場面でグループによる話し合いを取り入れる授業スタイルの研究に取り組んできました。学級全体の話し合いよりも、1人1人の子どもが自分の意見やアイデアを出すなどの活躍できる場面が増え、より主体的に学んでいくことができるような授業づくりをしようと考えたからです。その結果、80％以上の子どもたちは進んで発表していると答えています。その子どもたちの様子についての教職員の見取りも、6月に比べ大きく14.8％上昇しています。しかし、達成度は依然として70％を下回っています。これは、まだまだ自分たちの授業に改善の余地があり、今後もさらに研究を続けていき、子どもたちに力をつけていかなければならないという意識の表れだと思えます。

家庭で読書する姿が3.9％上昇しています。6月の結果を踏まえ、声かけをしていただいているのだと思います。また、大宮校では毎朝の読書タイムの他にも年3回の読書週間や「目指せ読書100冊」などの取組を進めてきました。数年前からは図書館の環境整備や読書推進の取組を地道に積重ねてきました。今年度はさらに「図書館へ誘うようなしかけ」を工夫できないかと、智慧を絞ってきました。しかし、残念ながら大きな成果があったとは言えません。読書好きの子にする為には、何より「読んでみたくなる本」と「読書する時間」があることが必要です。毎年、教育後援会のご厚意により選書会をしたり、公費で新刊を購入したりしてきていますが、まだまだ蔵書が不足しています。そこで、先日保護者の皆さんに学級文庫の寄贈をお願いしたところ、次々と本を届けていただいています。ご協力に感謝しております。子どもたちが読書習慣を身につけられますように、来年度もさらに図書館運営を工夫していきます。ご家庭でも、是非ご協力をお願いいたします。

## (徳)友だちを大切にできる子ども

多くの子どもたちがあいさつ・そうじ・スリッパ運動を始めとする学校や学級のルールを守り、友だちと仲良くできていると回答してくれているのは嬉しいことです。ただし、保護者・教職員から見ると、あいさつ・そうじ・スリッパ運動の達成度は低く、まだまだ十分とは言えないようです。この違いは「自分から」というキーワードにあるのではないのでしょうか。大宮の子どもたちは動物や植物の命を大切にする優しさ、言われたことを聞き入れ、行動に移すことができる素直さをもっていると感じます。しかし、「自分から」行動するところに弱さがあるのかも知れません。「聞かれる前に話す」「言われる前に動く」簡単なことではありませんが、そのようにステップアップした姿を目指して今後も取り組んでいきたいと思えます。

96.7％の子どもがお家の人とよく話すと答えています。子どもたちがニコニコと笑顔で話している様子が目に浮かびます。これはとても大切なことです。家庭で温かく見守られ、受け止めてもらえることを実感できることで、子どもたちに自己肯定感が育まれます。そして、そのことから子どもたちは自信をもち、安心して活動することが出来るようになると思うからです。

一方で、「困ったことがある時に誰かに相談しようと思わない子」「先生とあまり話していない子」が20％もいます。これは昨年度と同様の結果でしたが、下の項目で述べているように、学校生活が楽しく感じられていない子が8.2％いることと考え合わせると、とても気になります。教職員からは声をかけるように意識しているのですが、そのおもいが子どもたちに届いていないことがあるのかも知れません。じつくと子どもたちと向き合う時間を作っていかなければならないと、今更ながらに気を引き締めなければなりません。

## (体)心も体もたくましい子ども

この5項目についての結果は概ね高く、目指す姿に近づくことができているようです。保護者・児童・教職員、全ての人にとって最も大切なことは、子どもたちが楽しく学校生活を送ることができているか、ということだと思います。それについての回答結果は、どれも6月とほぼ変わらず90％を超え安定しています。なかでも保護者・教職員の見取りは95％以上ができていると高くなっていますが、子どもたちの自己評価は91.8％と少し低くなっています。学校生活が楽しく感じられていない8.2％の子どもたちのことを見過ごすことのないよう、大人である我々から声をかけて話し合い、おもいを受け取ることができるよう、さらに一層努めていかなければなりません。

教職員自身が安全や健康についての意識を高め指導したことについては、成果として子どもたちの姿に表れているようです。校舎内を走り抜ける子どもが減るとともに、出会い頭にぶつかる事故も減りました。反対に「進んで体を動かす」ことについては寒い時期だからでしょうか、教職員自身の取組が進まず、保護者の見取りも5.7％下がっています。それでも90％の子どもが進んで体を動かしているのは流石です。とても寒い朝でも、始業前に運動場やレインボーロードをたくさんの子が走り回っている姿を見ると、私たちまで元気になります。

「健康に気を付けている」と回答した子どもが90％を超えました。2月のほけんだよりでお伝えした1月の生活調べの結果からは、朝食の摂取率や歯磨きについてほとんどの子ができており、保護者にご協力いただいていることが分かります。しかし、5月と8月に比べて就寝・起床時刻は遅くなってきているなど、時間の使い方については課題が見えてきます。子どもたちは下校してから就寝までの時間(4時～10時と考えると6時間)をどのように過ごしているのでしょうか。遊び・習い事・学習・食事・風呂等忙しく過ごしている子が多いと思います。1日の疲れをとるためのリラックスする時間も必要です。「進んで体を動かしている」子が少し減っている一方で、3年生以上の子どものうちの30％が2時間以上をテレビ・ゲームに費やしているという結果が出ました。それ以外にも、ケータイの使用時間が増えているという話も聞きます。自分の時間や行動を自分で決めていく力は、社会でたくましく生きていくための基礎となる力です。子どもたちの成長にあわせて話し合いながら、子ども自身が計画を立てたり見通しをもって行動したりできるようにサポートしていくことが大切だと感じました。

それぞれのアンケート項目の結果をもとに、今後のよりよい学級・学校づくりの参考とさせていただきます。保護者の皆様、アンケートにご協力いただきありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

⇒右上に続きます

